

島根県立 古代出雲歴史博物館 NEWS

2016.SEP



vol.38

CONTENTS

- 2・3 特集「日本のわざと美」展
- 4 特集「日本のわざと美」展 関連企画展示
- 5 展覧会通信
- 6 れきはく通信
- 7 古代セン通信
- 8 れきはくごよみ／お知らせ

特別展

日本の わざと 美」展

～重要無形文化財とそれを支える人々～

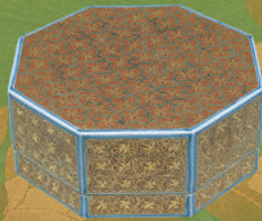
吉田美統
袖裏金彩格文飾皿
平成23年 文化庁



芹沢銈介
手織木綿地型絵染着物 八雲村道
昭和33年 東京国立近代美術館
※前期展示



北村昭彦
瑞鳥唐花文螺鈿箱
平成16年 文化庁



富本忠吉
色絵金銀彩四弁花模様八角飾箱
昭和34年 文化庁



三輪壽雪
鬼萩潤高台茶碗
平成15年 文化庁



松田権六
蒔絵螺鈿行儀文飾箱
昭和35年 東京国立近代美術館

「日本のわざと美」展 関連企画展示

守り、 伝えられた 島根の美

重要文化財
彩絵楡扇
平安時代 12世紀 佐太神社
※前期展示

北村昭彦
面彫瑞花鳥螺文扇箱
(復元模造 原品:佐太神社)
平成8年 当館

県指定文化財
内界曼荼羅 金剛界(修復後初公開)
至徳3年(1386) 迎接寺

国宝
秋野鹿野絵手箱
鎌倉時代 13世紀 出雲大社
※後期展示

県指定文化財
内界曼荼羅 胎藏界(修復後初公開)
至徳3年(1386) 迎接寺

県指定文化財
阿弥陀如来立像
文永7年(1270) 清泰寺

特別展

「日本のわざと美」展

—重要無形文化財とそれを支える人々—

開催期間:平成28年10月14日(金)～11月20日(日)

前期:10月31日(月)まで 後期:11月2日(水)から

閉室日 10月18日(火・休館日)、11月1日(火・特別展示室のみ展示替えのため閉室)、
11月15日(火・休館日)

開催場所:古代出雲歴史博物館 特別展示室

開館時間:9:00～18:00 11月は9:00～17:00

10月14日(金)は開会式のため、特別展示室のみ10:00開場となります。

主 催:文化庁・島根県教育委員会・島根県立古代出雲歴史博物館

特別協力:東京国立近代美術館

本展では、本年度までに認定された工芸技術分野の重要無形文化財の保持者(いわゆる「人間国宝」)のべ175名と、14の重要無形文化財の保持団体全ての代表作品を一堂に展示し、それを支える選定保存技術の関係資料と合わせてご紹介します。この秋は歴博で、日本伝統工芸の最高峰の「わざ」と「美」をお楽しみください。



よしたみのり
吉田美統(重要無形文化財「釉裏金彩」の保持者)
ゆうり きんさいつばきもんかさざら
釉裏金彩 椿文飾皿 平成23年 文化庁蔵



はらきよし
原清(重要無形文化財「鉄釉陶器」の保持者
出雲市出身)
てつゆう かちょうもんおおばち
鉄釉花鳥文大鉢 平成23年 文化庁蔵



せりざあけいすけ
芹沢銈介(重要無形文化財「型絵染」の保持者)
ておりちゆんじかたえぞめきもの やくもそんどう
手織木綿地型絵染着物 八雲村道 昭和33
年 東京国立近代美術館蔵(前期展示)
本作は島根・八雲村の農家を意匠としたもの。



えりさよこ
江里佐代子(重要無形文化財「截金」の保持者)
せりかねがざりばこ
截金飾篋「シルクロード幻想」平成13年 文化庁蔵
(前期展示)

企画展関連イベント

■ギャラリートーク

平成28年10月15日(土) 15:00~16:00
 講 師：北村昭斎氏（重要無形文化財「螺鈿」保持者）
 場 所：古代出雲歴史博物館 特別展示室
 （入場には特別展の観覧料が必要です）



きたむらしょうさい ずいちょうからはなもん らでんはこ
 北村昭斎 瑞鳥唐花文螺鈿箱
 平成16年 文化庁蔵

■講演会「国宝・秋野鹿蒔絵手箱と重要文化財・龍胆瑞花鳥蝶文扇箱について」

平成28年10月16日(日) 13:30~15:00
 講 師：北村昭斎氏（重要無形文化財「螺鈿」保持者）
 場 所：古代出雲歴史博物館 講義室
 定 員：80名（参加無料 要申込）
 申込方法：電話、FAX、歴博ホームページのイベント参加フォームのいずれかでお申込ください。

■製作実演

平成28年10月22日(土)、23日(日)
 各 午前の部10:00~12:00、午後の部13:00~16:00（随時）
 実 演：伊勢型紙技術保存会

平成28年11月5日(土)、6日(日)
 各 午前の部10:00~12:00、午後の部13:00~16:00（随時）
 実 演：浮世絵木版画彫摺技術保存協会

場 所：いずれも古代出雲歴史博物館 中央ロビー（入場には特別展または常設展の観覧料が必要です。）

■ワークショップ

「伊勢型紙でミニ色紙をつくろう」
 平成28年10月22日(土)、23日(日)
 各 午前の部10:00~12:00、午後の部13:00~16:00
 講 師：伊勢型紙技術保存会
 対 象：小学校4年生以上（刃物を使うため、小学生は保護者同伴）
 定 員：各20名（要申込）
 材料費：250円

「浮世絵の技で年賀状をつくろう」
 平成28年11月5日(土)、6日(日)
 各 午前の部10:00~12:30、午後の部13:30~16:00
 講 師：浮世絵木版画彫摺技術保存協会
 対 象：小学校5年生以上（刃物を使うため、小学生は保護者同伴）
 定 員：各10名（要申込）
 材料費：1,300円

場 所：いずれも古代出雲歴史博物館 体験工房
 申込方法：電話、FAX、歴博ホームページのイベント参加フォームのいずれかでお申込ください。

島根県立美術館で開催の日本伝統工芸展もあわせてご覧ください！

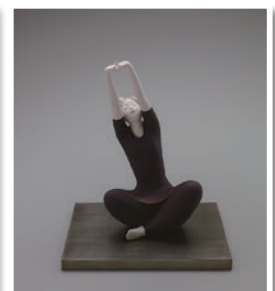
12月7日(水)~25日(日)まで、島根県立美術館では第63回日本伝統工芸展が開催されます。「日本のわざと美」展で紹介した人間国宝をはじめ、陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の各分野の第一線で現在活躍している作家の最新の作品が一堂に展示されます。

歴博のパスポートを提示いただくと、観覧料の割引もあります。ぜひ、現在活躍する工芸家たちの渾身の作品をご覧にお出掛けください。

開館時間：10:00~18:30(展示室への入場は18:00まで) 会期中無休
 観覧料(当日券)：一般 600円/大学生 400円/高校生以下無料



高松宮記念賞 井戸川豊
 銀泥彩磁鉢



日本工芸会会長賞 井上楊彩
 桐塑彩色「目覚めの刻」

※いずれも第62回展出品作

「日本のわざと美」展 関連企画展示

守り、伝えられた島根の美

開催場所：古代出雲歴史博物館 特別展示室

開催期間・時間・閉室日は「日本のわざと美」展に同じ。

「日本のわざと美」展に関連して、島根県独自の企画展示も開催します。

重要無形文化財の保持者や選定保存技術の保存団体は、国宝・重要文化財等の保存修理を担うこともあります。その意味でも、文化財保護の重要な役割を果たしています。県内所在の文化財を通してご紹介します。

〈主な展示予定品〉

- ・ 出雲大社所蔵の国宝・秋野鹿蒔絵手箱（※後期展示）
- ・ 佐太神社所蔵の重要文化財・彩絵檜扇と竜胆瑞花鳥蝶文扇箱（※前期展示）
- ・ 重要無形文化財の保持者・北村昭斎氏による秋野鹿蒔絵手箱と竜胆瑞花鳥蝶文扇箱の復元品
- ・ 清泰寺所蔵 木造阿弥陀如来立像（島根県指定文化財 選定保存技術の保存団体の修理）
- ・ 迎接寺所蔵 両界曼荼羅（島根県指定文化財 選定保存技術の保存団体の修理）



秋野鹿蒔絵手箱(出雲大社蔵)



竜胆瑞花鳥蝶文扇箱(佐太神社蔵)



竜胆瑞花鳥蝶文扇箱復元品(当館蔵)



両界曼荼羅(迎接寺蔵)修理後初公開

常設展期間限定展示 めでたい！

開催期間：平成28年12月23日(金)～平成29年1月29日(日)

休館日 1月17日(火)

当館の常設展示室には数多くの資料が展示されていますが、収蔵庫の中にはその何倍もの資料が保管されています。今回は当館が県内の社寺や個人から寄託を受けている資料や館藏品の中から、お正月にちなんで「めでたい！」と感じられるものを選びすぐって展示します。

宝船・七福神・鶴・亀といった誰がみても「めでたい！」と感じるものから、正月行事などで用いられる道具や、仏教において吉祥的な意味を持つ意外なものまで幅広く展示します。

展示を通じて、幸福を願う人々の心情を感じ取っていただければ幸いです。

【展示構成】

- (1) 正月でめでたい！
獅子頭をはじめ羽子板、コマ、双六など正月にちなんだ資料を紹介。
- (2) 初夢でめでたい！
初夢に見て縁起が良いもの。一富士二鷹三茄子。この続き、知ってますか。
- (3) 招福でめでたい！
正月の福引きといえば毘沙門天。その他、エビス・ダイコクなど七福神勢揃い。
- (4) 祭でめでたい！
吉兆幡などを中心に特徴ある出雲地方の正月行事、歳徳神祭を紹介。
- (5) 結婚・出産でめでたい！
嫁入り支度、孫拵えとして調べられた筒描藍染製品。その文様の意味とは。
- (6) とにかくめでたい！
衣裳や調度品などに施された吉祥文様の数々。その文様に込められた願いとは。
- (7) 平穏無事が一番めでたい！
庶民の一番の願いは平穏無事、その実現が神仏の御蔭と捉えられたのではなかったか。



旭富士と恵比寿・大黒のサイクリング



元禄24面大黒丁銀



鷹図(狩野永雲)



七福神宝船(磯田湖龍斎)



七福神餅つきの図(豊原国周)



七福神春之暁筆(河鍋暁斎)



婚礼夫婦布団 掛布団 鶴亀松竹梅丸紋
(荒布屋コレクション)

開館10周年記念企画展

「出雲国風土記—語り継がれる古代の出雲—」の紹介

古代出雲歴史博物館 主任学芸員 吉永壮志

開催期間 平成29年3月25日(土)～5月16日(火) [52日間]

※会期中の休館日：4月18日(火)

開催場所 古代出雲歴史博物館 特別展示室

和銅6年(713)、律令国家により、特産物や土地の様子、地名の由来、伝承などを記録し、報告するように命じられ、各国でつくられたのが「風土記」です。その命令から20年後の天平5年(733)に完成した「出雲国風土記」は、「ほぼ完本」という形で現存する、唯一の「風土記」で、古代社会の実像を探るうえで、貴重な情報を多く提供してくれます。

平成19年(2007)3月に開館し、来年3月に開館10周年を迎えるのを機に、「出雲国風土記」がどのようにして編纂されたのか、そこにはなにが記されているのか、そして、その後どのように伝えられてきたのかといった点について、考古・歴史・美術などの豊富な作品をもとに、本展で紹介いたします。

文字資料に恵まれない古代、しかも、「六国史」などにほとんど現れない古代の地方にあって、「出雲国風土記」が記され、現在まで伝わった、その意味や価値について、再確認する機会になれば幸いで、副題の「語り継がれる古代の出雲」にはそのような思いが込められています。



尾張藩主徳川義直により日御碕神社に奉納された「出雲国風土記」[島根県指定文化財](日御碕神社所蔵)

歴博入門講座

「いまさら聞けない島根の歴史」(連続4回シリーズ)

島根の歴史、本当は興味があるけど・・・、「むずかしい話は苦手だな。」「いまさら初歩的なことを聞くのも恥ずかしい。」と思っている方を対象にした入門講座です。学芸員が簡潔かつ丁寧に、島根の歴史を解説します。4回連続受講された方には、館長より修了証と記念品を贈呈します。

なお、入門講座ですので、歴史通の方、昨年度修了された方はご遠慮ください。

【第1回】

11月19日(土) 10:30～11:40 ※10:30～10:40は開校式があります。

「本当に知っていますか? 出雲大社の歴史」 講師：当館専門学芸員 岡 宏三

【第2回】

12月17日(土) 10:30～11:30

「『出雲国風土記』って、聞いたことありますか」 講師：当館主任学芸員 吉永壮志

【第3回】

1月21日(土) 10:30～11:30

「弥生時代青銅器の魅力」 講師：当館交流・普及課長 角田徳幸

【第4回】

2月18日(土) 10:30～11:40 ※11:30～11:40は閉校式があります。

「石見銀山の見方教えます」 講師：県文化財課専門研究員 矢野健太郎

※タイトルは予告なく変更する場合があります。

場 所：古代出雲歴史博物館講義室 定員80名

申込方法：電話、FAX、ホームページのイベント参加フォームのいずれかでお申込みください。

島根県古代文化センター新規研究事業の紹介

島根県古代文化センターでは、古代出雲歴史博物館での将来の展示内容となるよう、毎年2本のテーマ研究を開始しています。今年度開始のうちの1本を紹介します。

○前近代島根県域における環境と人間(研究期間:平成28～30年)

大山隠岐国立公園や隠岐ユネスコ世界ジオパークが広がる自然豊かな島根県では、その恩恵を享受する一方で、最近では平成25年の石見地域での水害をはじめ、明治5年の浜田地震など、多くの自然災害に見舞われてきました。

この研究では、江戸時代以前に現在の島根県域に住んだ人々が、時には厳しく時には優しい自然環境と、どのように折り合いをつけて暮らしてきたのか、「耕地開発」「都市開発」「災害対応と自然観」という切り口で考察したいと思います。

(主担当者：研究員 倉恒康一)



5世紀頃の地震で生じた液状化の痕跡
(松江市・原の前遺跡・県埋蔵文化財調査センター写真提供)

出雲国風土記連続講座のご案内

全国で唯一ほぼ完本として伝わる『出雲国風土記』の価値と魅力を県民のみなさまに分かりやすく伝えるために開催している「出雲国風土記連続講座」も、ご好評をいただき今年度で4年目に突入しました。選りすぐりの講師陣が『出雲国風土記』の世界をさまざまな角度から、楽しく、深く解説しますので、ぜひご来場ください。

今年度は10月からの3回シリーズを予定しています。応募方法など詳細は9月頃にチラシ、古代文化センターホームページで告知します。

10月30日(日) 13:30～15:00	『出雲国風土記』とヤマタノヲロチ	伊藤剣先生 (明治大学専任講師)	松江市 松江テルサ
12月10日(土) 13:30～15:00	古事記と風土記の「黄泉」 ～伝承からみる古代人の他界観～	佐藤雄一 (古代文化センター研究員)	同上
1月28日(土) 13:30～15:00	『出雲国風土記』に見る越(こし)と 出雲の考古学的検討	丹羽野裕 (島根県教育庁文化財課長)	同上

〈お問い合わせ先〉

島根県古代文化センター

TEL：0852-22-6726 FAX：0852-22-6728

E-mail：kodai@pref.shimane.lg.jp

HP：http://www.pref.shimane.lg.jp/bunkazai/kodaisen.html

秋のイベントのご紹介

◆れきはく秋の体験楽「れきはく秋まつり」

日時 10月9日(日) 10:00～15:00

内容

- ・出雲農林高校・古代出雲歴史博物館連携事業
出雲農林高校がやってくる！「移動動物園」「出農太鼓」「出農ショップ」
- ・れきはくマルシェ maru café テイクアウトドリンク おにぎりと豚汁セット など
なかよし ロールケーキ、シフォンケーキ、クッキー、マドレーヌ、プリン、マフィン販売
- ・加茂岩倉銅鐸発見記念日「ロウで銅鐸の鑄造再現実験」
- ・工作やスタンプラリーなどのキッズわくわく体験コーナー



内容は変更になる場合があります。

お知らせ

ショップからのお知らせ

雲南市の加茂岩倉遺跡から出土した35号銅鐸にちなんだ商品のご紹介です。
「出雲加茂岩倉35号銅鐸」を実物の35%の大きさと製作した精巧なレプリカです。
実物は国宝に指定され、当館で展示しています。今年は加茂岩倉遺跡から銅鐸が出土して20周年。この記念すべき年に合わせ、お手元にいかがでしょうか。

高さ16.5cm 幅10.3cm 奥行6cm

価格：11,500円（税込）



カフェからのお知らせ

こんにちは。

ミュージアムカフェ、maru caféからのお便りです。

みなさんは、maru café にいらっしゃったことはありますか？

Caféは博物館の2Fにあるのですが、ここから見える自然のパノラマは素晴らしく、とっても居心地の良い空間です。

maru café の人気メニューに、ベーグルサンドがあります。

このベーグルは、社会福祉法人桑友の“まるベリー工房”さんのパンを使っています。

Caféで使っているのは、全粒粉ベーグルで、外側はカリッと中はモチモチなのが特徴です。サーモンベーグルときんぴらチキンベーグル、ブルーベリーベーグルがありますので、是非この機会に召し上がってみてくださいね。

また、1番人気の歴博カプチーノについている勾玉クッキーは、特定非営利活動法人なかよしさんに作ってもらっています。こちらのクッキーは、バターたっぷり、さくさくと歯ごたえのよい、自然な甘みなのが特徴です。こちらは、“maru玉クッキー”として、店内でも販売しています。

このように、地域の皆さまと共に歩んでいるmaru café です。

ぜひ、この空間でゆったりとおくつろぎ下さい。



きんぴら(500円税込)



サーモン(550円税込)

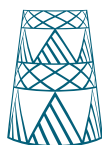


ブルーベリー(500円税込)



勾玉クッキー(小)
(300円税込)

発行／平成28年9月



島根県立古代出雲歴史博物館
Shimane Museum of Ancient Izumo

〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東99-4
TEL.0853-53-8600(代) FAX.0853-53-5350
URL : <http://www.izm.ed.jp> E-mail : contact@izm.ed.jp
開館時間 9:00～18:00(11月～2月は、9:00～17:00)



マスコットキャラクター
雲太くん



マスコットキャラクター
出雲ちゃん